



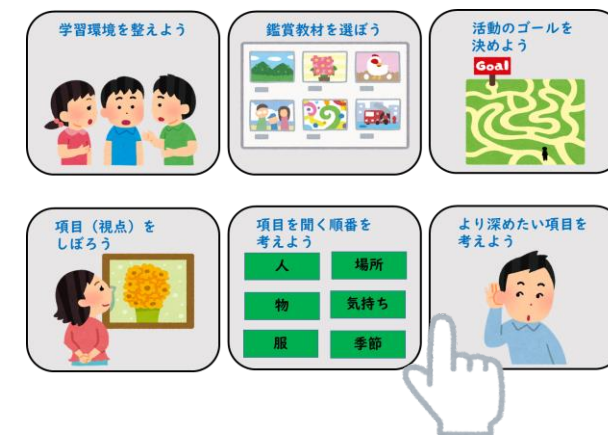
# 鑑賞教材授業 マニュアル



## ー本マニュアルのポイントー

☆指導経験が少ない先生方でも、鑑賞教材を活用した授業を行うことができます。

☆ご自身が知りたい項目をクリックして見ることができます。



☆国立アトリサーチセンター「鑑賞教材BOX」にリンクしており、鑑賞教材や指導事例を見ることができます。

# 鑑賞教材授業 マニュアル もくじ

学習環境を整えよう



鑑賞教材を選ぼう



活動のゴールを決めよう



[国立アート  
リサーチセンター  
鑑賞素材BOX  
\(外部へのリンク\)](#)



項目（視点）を  
しぼろう



項目を聞く順番を  
考えよう

|   |     |
|---|-----|
| 人 | 場所  |
| 物 | 気持ち |
| 服 | 季節  |

より深めたい項目を  
考えよう

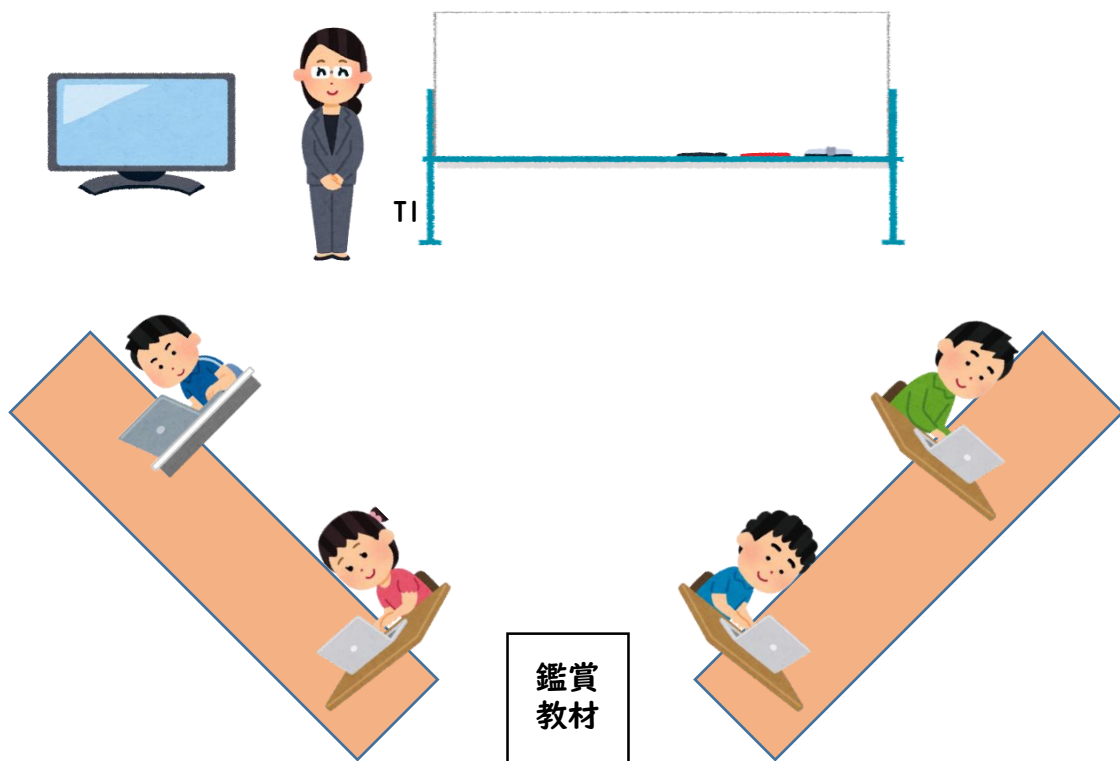


学習指導案例

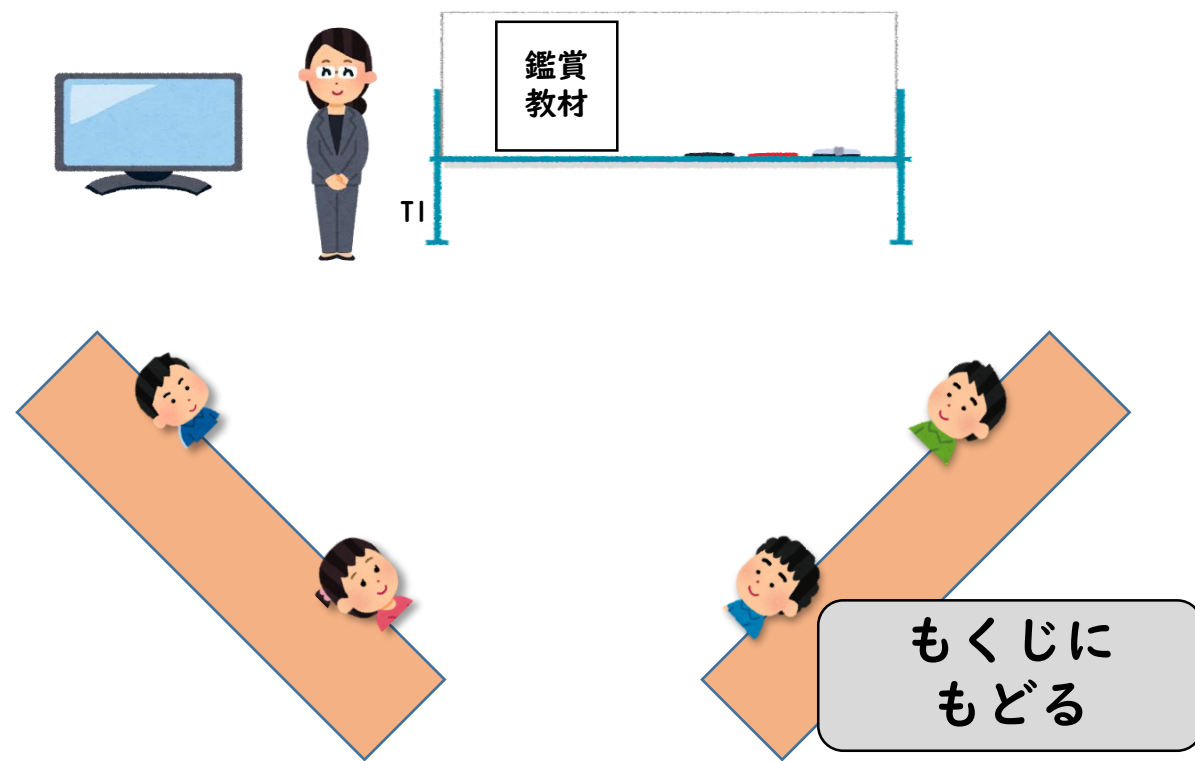


# I 机の配置と活動の例

A 考えを整理する場面では  
絵を観て、集中して考えを整理  
できるようにします。



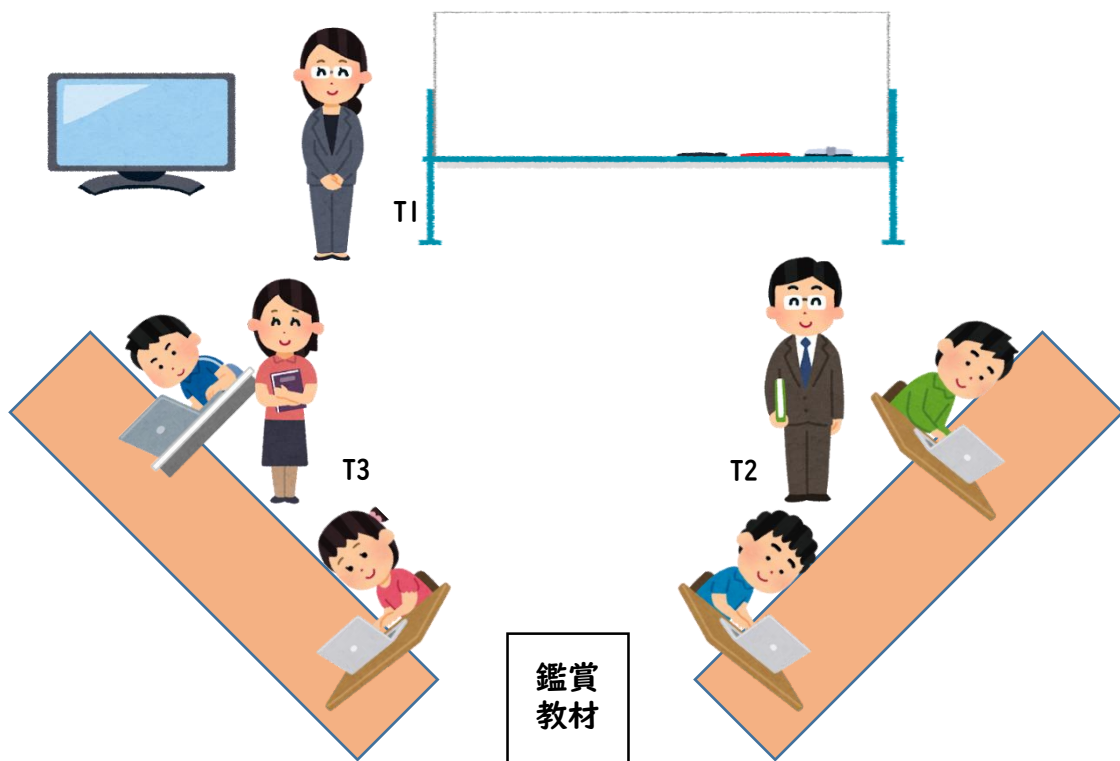
B 考えを表出する場面では  
教員のファシリテーションによって、  
考えを共有します。



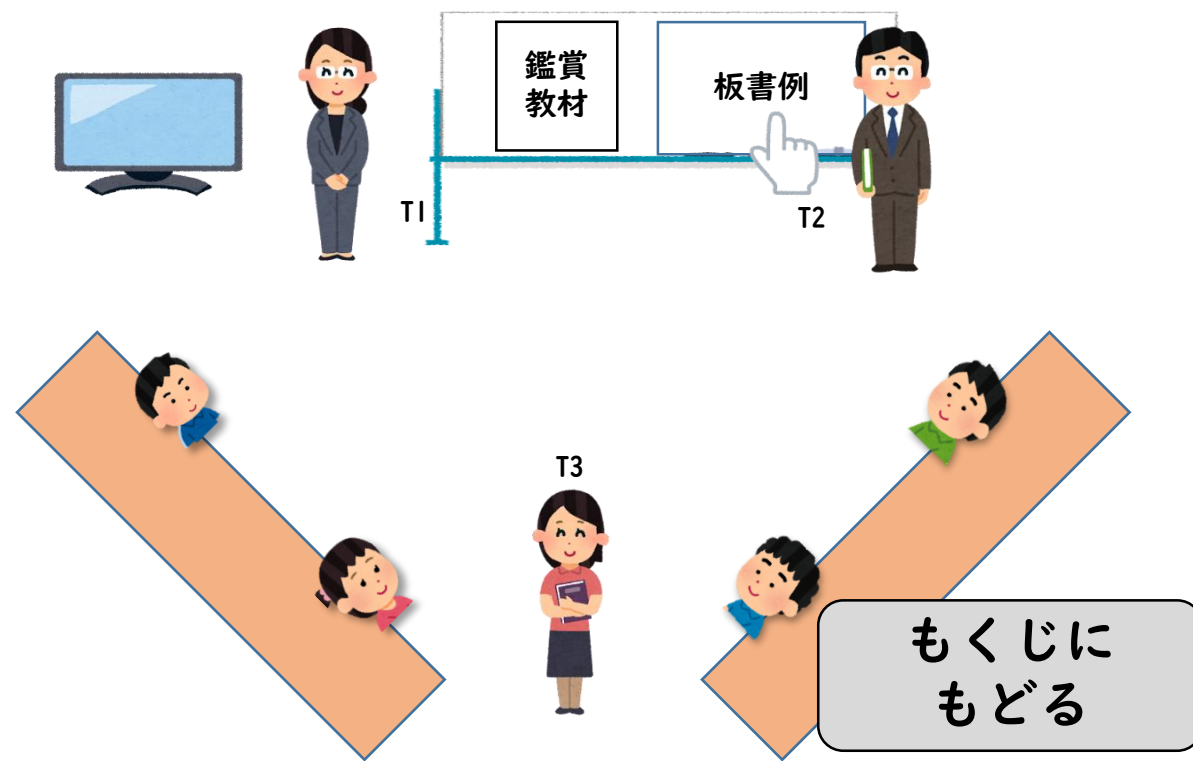


## 2 AT(アシスタントティーチャー)の役割例

A 考えを整理する場面では  
安心して取り組めるよう、機器  
の活用方法や考えを確認します。



B 考えを表出する場面では  
T2は発言を板書します。T3は言  
葉掛けや助言をします。





鑑賞教材を  
選ぶ



### 3 鑑賞教材の選定(外部へのリンク)

☐ 写実 ☐ 文脈 ☐ 象徴

☐ 様式 ☐ 印象派

☐ 日本 ☐ 諸外国

他教科へのひろがりキーワード：

☐ 公共（コミュニティ）

☐ 生命 ☐ 身体 ☐ 生活

☐ 自然 ☐ 環境

☐ エネルギー ☐ 郷土

☐ 理数 ☐ 音楽

☐ 異文化 ☐ 自由

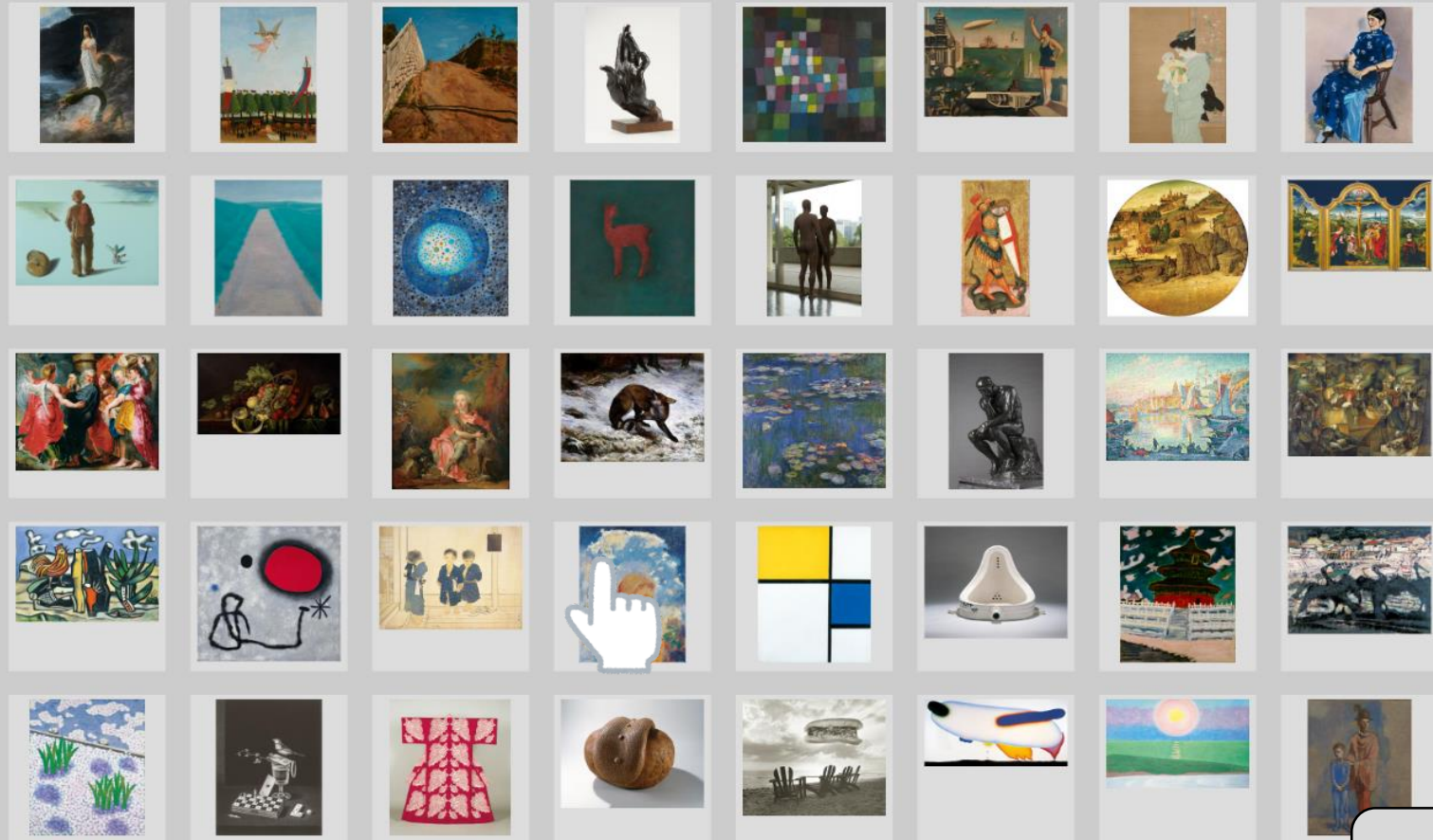
キーワード該当数

制作年降順

制作年昇順

リセット

選択画像をみる



リンク先：国立アートリサーチセンター  
「鑑賞素材BOX」

もくじに  
もどる



## 4 中心となる発問の検討

※ 答えが明確なものや、考えの根拠が  
伝えにくいものではなく、様々な見方、  
考えがもてるような発問

### 【例】

- ・ キツネの視線の先には何があるのかな。  
(誰がいるのかな?)
- ・ この後、キツネはどうなるだろう。
- ・ この絵の題名を考えよう。



作者： ギュスターヴ・クールベ  
生没年： 1819-1877  
制作年： 1860  
サイズ： 81.5×100.5cm  
ジャンル： 洋画  
素材・技法： 油彩／キャンバス  
所蔵： 国立西洋美術館

もくじに  
もどる





## 5 発問の検討

- ※ 捉えさせたい点を絞る。
- ※ 見て分かる点と、絵には表されていないが想像する点に分ける。
- ※ 理由（根拠）を想定しておく。

### A 見て分かる点

ここはどこだろう？  
（場所）

季節はいつ頃だろう？  
（場所）

どんな生き物がいるかな？  
（動物）



### B 想像する点

どんな気持ちだろう？  
（気持ち）

誰が罾を仕掛けたのだろう？  
（ストーリー性）

キツネの視線の先には何があるだろう？（ストーリー性）

もくじに  
もどる



## 6 デジタル機器の準備

- ① 児童一人一人の実態を踏まえ、考えを表出できそうな項目のカードを作成しておく。
- ② 児童は、気付いたこと、考えたことに当てはまるカードを選んで、広場を送る（複数可）。
- ③ 広場の画面では、児童の送ったカードが見られる。

※ 必要に応じ、ATが支援をする。

【例】「ここはどこだと思う？」

「どんな動物がいるかな？」など





項目を聞く順番  
を考えよう

人

場所

物

気持ち

服

季節

# 7 発問順の検討

見て分かる点から、聞く順番を考える。

いろいろな考えが表出しやすいものを先に聞くとよい。

季節はいつ頃だろう？  
(場所)

秋、冬

ここはどこだろう？  
(場所)

森、山

どんな生き物がいるかな？  
(動物)

キツネ、犬

何があるだろう？  
(物)

罨、木、雪

もくじに  
もどる

項目を聞く順番  
を考えよう

人

場所

物

気持ち

服

季節

## 8 理由を問う発問の検討

考えを聞いた後に「**どうしてそう思ったの？**」と理由を問うことで、  
考えに対する根拠を引き出すことができる。

季節はいつ頃だろう？  
(場所)

秋、冬→「雪があって寒そうだから」  
「落ち葉のようなものがあるから」

ここはどこだろう？  
(場所)

森、山→「木がたくさんあって、山みたい」

どんな生き物がいるかな？  
(動物)

キツネ、犬→「口のあたりが犬みたいだから」

何があるだろう？  
(物)

毘→「足に引っかかっているし、形が似て  
いるから」

もくじに  
もどる



## 9 想像を促す発問の検討

誰が罠を仕掛けたのだろう？

「キツネを捕まえるために、猟師が仕掛けたと思う」

どうして、仕掛けたと思う？

「いつも山や畑の食べ物を荒らしてしまうからかな」

ということは、餌を取りに来たキツネということ？

「親キツネで、子供の餌をとりにきたのかもしれない」

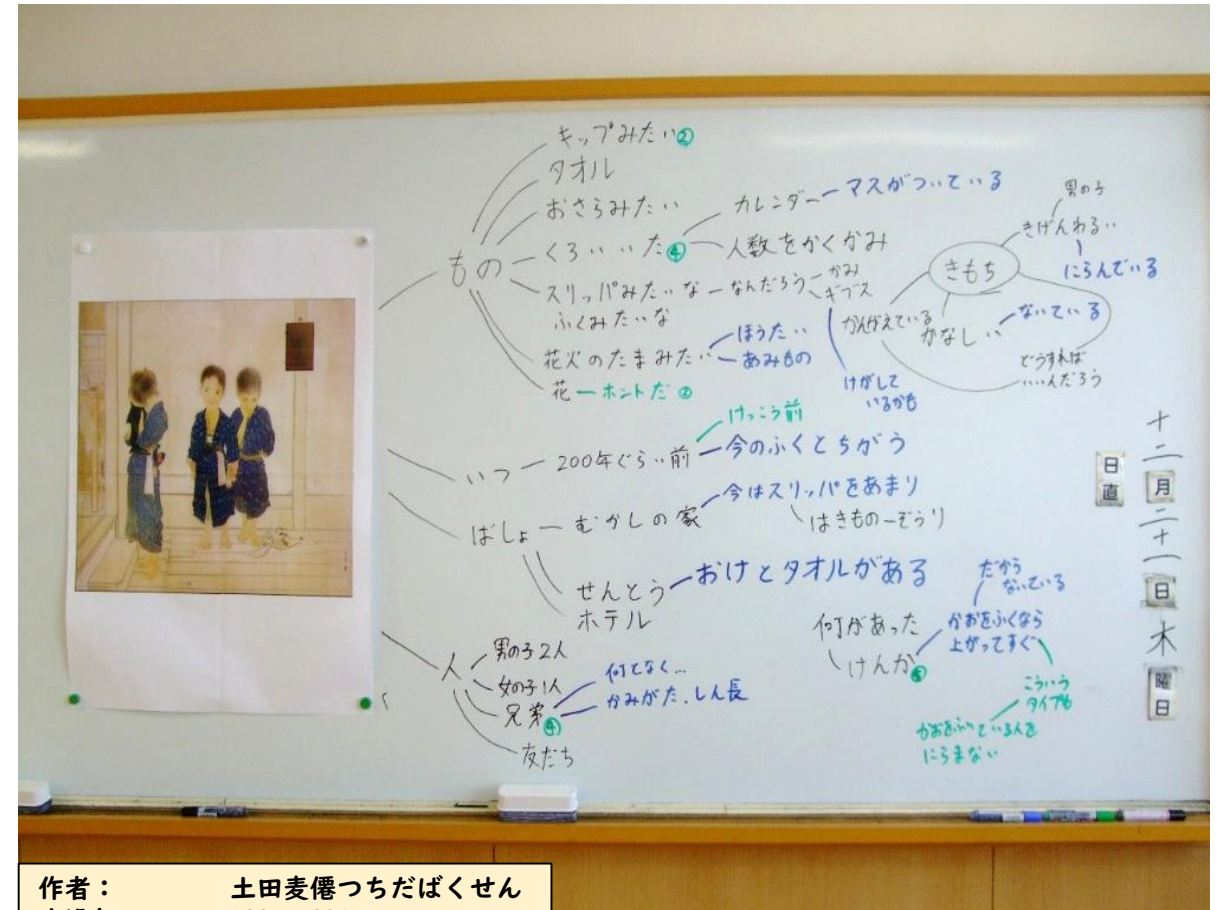
罠にかかったキツネの視線の先にいるのは…

「わなを仕掛けた猟師がいる。だから、怒っている顔をしていると思う」



## 10 板書計画の検討

- ① 視覚的に考えをまとめます。
- ② 理由（根拠）は、色を変えるなど工夫する。
- ③ 同じ考えには、数を書くなど、共感されたことが分かるようにします。
- ④ **線でつなぐ**など、関連性を視覚的に示す。



作者： 土田麦僊つちだばくせん  
生没年： 1887-1936  
制作年： 1908  
サイズ： 154.3×198.8cm  
ジャンル： 日本画  
素材・技法： 絹本着色  
所蔵： 京都国立近代美術館

もくじに  
もどる